

～計画推進ニュース・号外～

昭和区社会福祉協議会 平成21年度地域福祉活動計画実施報告書 (事務局プロジェクトチーム編)

昭和区では、第2次地域福祉活動計画が計画倒れにならないように、平成21年度も6つのプロジェクトチームとその代表者会を組織して、計画項目の推進・進行管理・客観的評価を行ってきました。

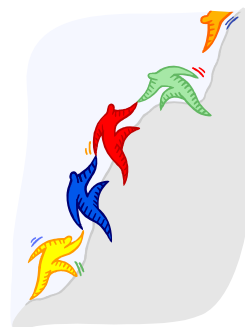
その6つのプロジェクトチームの一つに「事務局プロジェクトチーム」があります。

この号外においては、その事務局プロジェクトチームの特色と1年間の取り組みを報告します。

事務局プロジェクトチームの特色

1 広範な課題に自由に取り組む

- ① 本来活動としての活動計画項目の推進（他のチームに属さない事項）
- ② 他の5つのプロジェクトチームの進捗状況の月次確認
- ③ 職場内（事務局内）各セクションの連携促進と業務改善



2 5つの班を設置し、原則全職種全職員が参画する

推進体制の特徴として、全職種の職員の意見が反映されるように配慮されています。

プロジェクトのもとに5つの班を設置したのですが、その班の構成員として、それぞれ、訪問介護（ヘルパー業務）、居宅介護支援（ケアマネ業務）、通所介護（デイサービス業務）、包括支援（介護予防等業務）、事務・はつらつ長寿（地域福祉推進）の各職種職員が分散配置されています。



各班の取り組み

この広範な対象領域に立ち向かった多種多様な職員たちが、計画推進初年度に何を生み出してきたのか、次頁からはその一端を報告いたします。



ネットワーク班



マナーアップ班





研修班



社協PR・環境整備班





情報共有・コミュニケーション班



最後に・・・

- ・作成目的は、1年の成果の確認と、翌年度への意欲喚起です！
- ・とりまとめてみると、大変有意義な成果が多く残せていることが確認できました。ただし、21年度は「業務改善」が主流であり、22年度以降、地域福祉関連項目への取り組みも望まれます。
- ・ の数は、事務局長が項目別に「発想・手間・効果」などを総合的に考えて、勝手に判断しました。（「意義」は全項目、素晴らしいと思いました。）



*この報告書は、計画推進担当者（野川主事）の協力を得て、情報共有・コミュニケーション班活動の一環として作成しました。